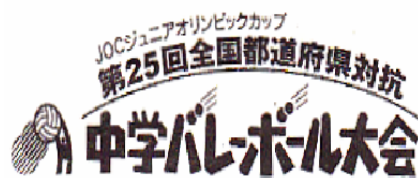


選抜通信



第10号 平成23年11月30日(水)

香川遠征を終えて



2日間他県とやっていた練習になった。京都は強い時と弱い時があるのでそれをなくしたい。
村田くん

他県と比べて全然声が出ていない。後衛の時の守備の位置に気をつけ、ブロックの決定率を上げる。
武知くん

そのチームとの最終セットを落とすことが多い。6人で声を出すことがいかに大切かわかった。
小林空くん

どのポジションでも活躍しようと思っていたのに、チャンスに何もできずに終わってしまったので、もっと頑張りたい。
小林俊幹くん

みんなで声を出さないといけない。だからボールのつながりも悪し、セットによって波がある。自分から声を出す。
稲葉くん

ミスが多い。出場した時もミスでムードを悪くしてしまった。声や盛り上がりが大切だと思う。
延原くん

全体にミスが多い。波がある。常にミスを少なくいい動きができるように普段の練習から頑張る。
時井くん

決めるべき時に決められなかった。上がったトスは全部決めたい。サーブが弱い。
片野坂くん

サーブカットが悪い。大事な場面でスパイクミスしないように練習したい。1日目、試合に出られなかったのが悔しい。
岩元くん

全体に弱い。もっとお互いを知って強いチームに。
大久保くん

トスの良い悪いに波がある。安定したトスを上げたい。
金岡くん

2日目、トスが安定せず悔しかった。ミスをしていても気持ちを切り替える。すべて本番のつもりで声を出してやる。
雄谷くん

香川遠征の様子

参加チーム：1日目〈香川 島根 高知 京都〉 2日目〈香川 徳島 高知 京都〉
試合の様子は概ね良かったと思います。ブロックの決定率も上がり、攻撃についてもミスも少なく、点数もよく取れていたと思います。しかし、気になるのは、やはりいくつかのセットで非常に調子が悪くなることです。さっき大差で勝った相手に、次は競ったり負けたり・・・。そういうセットがあると、本番では「あれあれ？」と思っているうちに負けてしまうことが予想されます。試合中にミスはあって当然ですが、1セットを通じてチーム全体のムードが悪いままだったり盛り上がりえないまま終わっていくのは避けなければいけません。少しのミスで悪いムードにならずに、みんなで盛り上げて良い雰囲気を作るチームになろう。